

発達障害を理解するための 基礎知識

～障害特性とコミュニケーション支援

公認心理師・言語聴覚士
湯汲 英史

3つのテーマを話します

1. コミュニケーション支援の実際
2. 障害特性と配慮点
3. 感情の脱コントロールの原因

1. コミュニケーション支援の実際

A. 大人がすべき配慮

①短く話しましょう

◎1歳は単語　2歳は2語　3歳は3語
4歳は4語

精神（理解）年齢を参考に話しかける

障害特性：ワーキングメモリとは？



$$\begin{array}{r} 18 \quad 1 \\ + 27 \\ \hline 45 \end{array}$$

ワーキングメモリの内容

「単純短期記憶」と「意味のある文章」

【洋服を着替えて、帽子をかぶって、体育館に行きなさい】 一文 = 1 ユニット

(種類)

言語性ワーキングメモリ

視空間性ワーキングメモリ

ワーキングメモリの容量

子どもに、大人が「来て」と声をかける
子どもの目の前を、ボールが転がる

①ボールに気を取られ、来ない

・・・WMは未形成

②ボールに気をそらすが大人の所に来る

・・・WMは1個以上

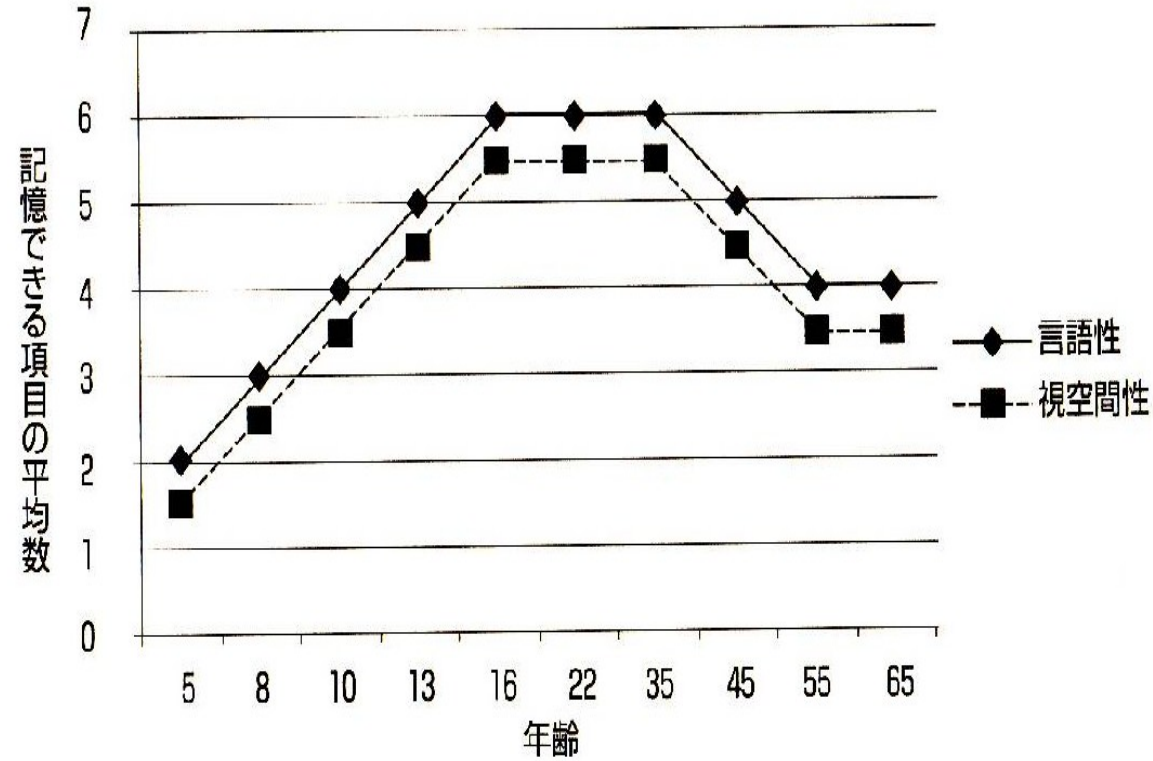


図1-1 ライフスパンにわたるワーキングメモリの变化

のワーキングメモリ容量の平均を示しています。最も急激な増加は子ども時代にみられます。この時期が重要なのは、生まれてから最初の10年間で、残りの人生よりも多く、ワーキングメモリが増加するからです。ワーキングメモリは20代の頃まで着

障害特性：比較検討とWM

頭の中で、比較検討するときを使う

☆○○はほめられる、××は叱られる

→だから○○をする

☆□□は正しいかな？○○がいいかも？

→だって、～だから。

ワーキングメモリからくる問題

- 説明がわからない
- 適切な選択ができない
- 勉強ができない
- 反抗挑戦的
- 気が利かない
- 無意欲
- 反省しない

ワーキングメモリを補助する



WMの容量を知る

1 . . . ○○をして

2 . . . ○○をして、□□をして

3 . . . ○○をして、□□をして、△△をして

○子どもの語彙力、理解の程度、習熟度に配慮する

有効なクオリア表現

擬音、擬態語

自分なりの感じを伝える

「ぎゅっと持ってね」 「ぴかぴか、きれい」

「ピタッ、だよ」

②丁寧伝える「もしも」の伝え方

わかりにくい文章

「もしも～したら、○○しよう」

(必要な力)

記憶やイメージする力・ワーキングメモリ

類推する力

ワーキングメモリの働きが十分でないと、複数のことを比較検討し、一つのことを選択することにも支障がでる

B. 子どもの理解力をつかむ

①言えることばの数と理解力

発声と発語

発声にはさまざまな筋肉を上手に動かせる力が必要

◎筋緊張の低下→発語が遅れる

全身を動かす→運動能力を高める

◎理解は表現よりも先行

◎聞くよりも読む方が得意な子がいる

視空間性ワーキングメモリを活用する

②カテゴリーの理解

◎ことばの抽象化

ブーブー → くるま → 自動車
→ 乗るもの → 乗り物

◎具体語と抽象語

絵や写真にできないもの
= わかりにくい抽象語

③疑問詞の理解

(1歳) 誰 何

(2歳) どこ

(3歳) どうやって

(2～3歳) いつ

(3～4歳) なんで、どうして、なぜ

(4～5歳) だって、だから

質問に答えようとする姿勢づくり

④能動と受動の表現

◎能動文と受動文

二語文中心の子ども→能動受動は難しい

◎獲得の準備

いってきます⇔いってらっしゃい

ただいま⇔おかえり

言動に影響する因子

○性格

穏やか、やさしい、きつい、素直、まじめ、ゆかい、など

○気質

人間ひとりひとりの特有な心理的特徴は、一般に性格と呼ばれるが、この性格が環境からの影響を受けて後天的に形成されるものであるのに対し、その基礎にあって生物学的に規定されていると考えられる生来性の特質が気質である。

おだやか、はげしい、のんびり、せっかち、あわてんぼう、など

○嗜好

C. 子どもの表現力を育てる

①反対を考えさせよう

◎反対類推が起こりにくい

◎注意＋適切な行動

走らない、歩く

立たない、座る

◎適切な行動や理由を考えさせる

「何をしたらいいかな？」

「どうして歩くのでしょうか」

②振り返る力を育てる

◎昨日 → 今 → 明日

◎時間は抽象、理解が難しい場合も

◎順序正しい振り返りが難しい

③理由を伝えるように促す

◎「理由がうまく言えない」→わがまま

◎「理由を聞いても理解できない」→がんこ

◎理由を答えられる段階

理由を教える

●理由がわからない・・・歯磨きの例

●喚語困難？

○言えない場合、択一式で聞く

理由を教える

障害特性：要求しないASDの子ども

せがむ：あそんで

ねだる：キャッチボールしよう

要求する：～してください

確認する：「していい？」

大人への要求→受容れ→愛着の発生と安定

助けを求められない子

- わかりません、教えてください
- どうやるの？
- できない！
- ここれでいい？

切羽詰った A S D の子の表現

普通に要求できない子

< いや、やめて > と言えない

切羽詰って表現

大声を出す

泣き叫ぶ

自傷行為

跳びはねる

威嚇 など

時には、代弁して表現する

子どもが言葉で表現できないことを認識する

◎～して

◎～したい

◎～ほしい

◎～だといいな

公平 = フェア

資源の平等な分配を好む傾向

子どもは平等を期待する

子ども本人も平等に分配したがる

分かち合い・・・思いやりと利他性の現れ

ポールブルーム「ジャスト・ベイビー」より

3. 感情の脱コントロールの原因

発達の目的

◎自己形成（理解の発達）

- ・・・自分で考え、判断し、行動できるようになること

◎社会化（関わりの発達）

- ・・・判断したことを、まわりに受け入れられるもので表現できるようになること

人の指示・命令に従いたくない

「イヤイヤ期の発生」

「なんで」「どうして」と理由を聞く

指示・命令に従うのではなく、人の考えに納得し行動する

※素直かどうかは、性格・気質・嗜好が影響する

マルかバツかではない世界

2歳前後から、マルがいいと思い出す子ども

○か×で、物事を判断

大人も教えやすい

しかし、あいまいな世界

△のある現実

友だちなどとの関わりの中で、その後

「多分」「おそらく」「かもしれない」を学ぶ

できるようにになりたい

○できるようにになりたいけれども、教えてもらう方法を知らない
「できない」という
わかりません、教えてください

○作業所で作業を続ける気持ちには何があるのか
できるようにになりたい、完成させたい

【参考文献】

- ☆湯汲 英史著「子どもを伸ばす関わりことば26」 すずき出版 2006年
- ☆湯汲英史編著「発達障害をもつ子への保育・子育て支援」 明治図書2006年
- ☆湯汲 英史著「切りかえことば22」 すずき出版 2007年
- ☆湯汲英史著 「発達促進ドリル」①巻～⑩巻すずき出版 2007年～2008年
- ☆湯汲・小倉共著「決定権を誤解する子・理由を言えない子」 かもがわ出版2009年
- ☆湯汲英史編著「保育に役立つ発達過程別の援助法」 日本文化科学社2009年
- ☆湯汲 英史編著「ことばの力を伸ばす考え方・教え方」 明石書店 2010年
- ☆湯汲 英史編著「発達障害のある子と話す27のポイント」 かもがわ出版2011年
- ☆湯汲 英史著「関わりことば26 コミック版」 すずき出版 2013年
- ☆湯汲 英史著「切りかえことば25 コミック版」 すずき出版 2014年
- ☆坂爪一幸・湯汲共著「知的障害・発達障害のある人への合理的配慮」 かもがわ出版 2015年
- ☆湯汲 英史著「0歳から6歳 子どもの社会性の発達と保育の本」 学研 2015年
- ☆湯汲 英史編「知的障害・発達障害のある子どもへのコミュニケーション支援」 診断と治療社 2016年
- ☆湯汲 英史著「0歳から6歳 子どもの発達とレジリエンス保育の本」 学研 2018年
- ☆湯汲 英史著「表現することは生きること」 かもがわ出版 2018年
- ☆湯汲 英史著「0歳から6歳 子どもの感情コントロールと保育の本」 学研 2020年